

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2022年 4月 13日

都道府県知事 殿

病院名 医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院
開設者 医療法人徳洲会

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－1－から－5－まで及び別紙1については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会千葉徳洲会病院

記入日：西暦 2022 年 4 月 15 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030157	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 番号 030157
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ヤマダ ナナミ 氏名(姓) (名) 山田 七海	役職 事務 (内線 1305) (直通電話 047(774)0390) e-mail : kensyu@chibatoku.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホウジントクシュウカイ チバトクシュウカイビョウイン 医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 274-8503 (千葉県) 船橋市高根台 2-11-1 電話 : (047) 466-7111 FAX : (047) 464-6322 二次医療圏 の名称 : 千葉県東葛南部		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホウジントクシュウカイ 医療法人徳洲会		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 530-0001 (大阪府) 大阪市北区梅田 1-3-1-1200 電話 : (066) 346-2888 FAX : (066) 346-2889		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ツルタ 姓 鶴田	ヨシヒコ 名 好彦	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.chibatoku.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会千葉徳洲会病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 53 名、非常勤（常勤換算）： 27.89 名 計（常勤換算）： 80.89 名、医療法による医師の標準員数： 31.03 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2020年07月03日、告示番号：第 370 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 (130.300) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 11,853 件（うち診療時間外： 9,861 件） 1日平均件数： 32.4 件（うち診療時間外： 27.0 件） 救急車取扱件数： 3,734 件（うち診療時間外： 2,089 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 2 名、看護師及び准看護師： 3 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1. 有 (0) 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 447 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 15.7 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 件、異常分娩件数： 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 4 回、今年度見込： 5 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 9 件、今年度見込： 5 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 () 大学、() 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 50000 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	(1) 有 (1 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(43.220) m ²
	医学図書数	国内図書： 1500 冊、国外図書： 500 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 38 種類、国外雑誌： 33 種類
	図書室の利用可能時間	8：00 ～ 20：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ((1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ ((1) 有 0. 無)、 その他 () 利用可能時間 (0：00 ～ 24：00) 24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1) 有 0. 無)、 その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会千葉徳洲会病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	ツガナ カワゴエ コトミ 氏名(姓) 川越 氏名(姓) 琴美 役職 主任			
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)			
	診療録の保存期間	(20) 年間保存			
	診療録の保存方法	1. 文書 2. 電子媒体 その他(具体的に: H16年3月以前は文書保存)			
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	① 有 (1 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>			
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 (1) 名、兼任 () 名 主な活動内容: 例) 「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 「院内において発生した、インシデント・アクシデントについての情報収集」「医療安全のための研修・教育の企画」等			
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等: ツガナ アサハラ シンゴ 氏名(姓) 浅原 氏名(姓) 新吾 役職 副院長 対応時間 (8:30 ~ 19:00) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ① 有 0. 無			
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 0. 無 指針の主な内容: ・ 医療安全管理体制の整備 ・ 医療安全管理のための擬態的方策の推進 ・ 医療事故発生時の具体的対応 ・ 医療事故の評価と医療安全対策への反映		
		医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容: ・ 毎月のレポート集計、レポートに対する分析 改善案立案支援 ・ 改善案の進捗状況の確認 ・ 院内ラウンド		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容: Rapid Response System とは?なぜ必要か?導入と定着のアイデア・施設/環境/設備による安全・倫理的な安全、安全のための倫理			
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: レベル3b以上及び組織的改善が必要なインシデントに対し「医療安全業務改善会」の開催の仕方策の立案。立案された方策の周知、モニタリング			
	20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了: 6 名 中断: 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度	
	1 年	7	7	5	
	2 年	2	7	8	
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (447) 床 ÷ 10 = (44) 名			
	患者数から算出	年間入院患者数 (6,312) 人 ÷ 100 = (63) 名			
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> ○ 派遣実績 → 募集定員加算 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> 名 名 </div> <p>※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算大数を記入すること。(記入要領25を参照)</p> <p>○ 地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ 無)</p> <p>※ 該当する方を○で囲むこと。</p>				

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会千葉徳洲会病院

項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。		※													
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士： 名 (常勤： 名、非常勤： 名) 2. 作業療法士： 名 (常勤： 名、非常勤： 名) 3. 臨床心理技術者： 名 (常勤： 名、非常勤： 名) 9. その他の精神科技術職員： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)												
25. 第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>			1. 有 (評価実施機関名： (年 月 日)) <input checked="" type="radio"/> 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small>												
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。															
26. 研修プログラムの名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム プログラム番号：030157703												
27. 研修医の募集定員 <small>(基幹型記入)</small>			1年次：5 名、2年次：5 名												
28. 研修医の募集及び採用の方法 <small>(基幹型記入)</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px dashed black;"> 氏名 (姓) ナナミ 山田 </td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px dashed black;"> 氏名 (姓) 七海 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px dashed black;"> 所属 総務課 役職 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px dashed black;"> 電話： 047-774-0390 FAX： 047-467-0379 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px dashed black;"> e-mail： kensyu@chibatoku.or.jp </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px dashed black;"> URL： http://www.chibatoku.or.jp </td> </tr> </table>	氏名 (姓) ナナミ 山田	氏名 (姓) 七海	所属 総務課 役職		電話： 047-774-0390 FAX： 047-467-0379		e-mail： kensyu@chibatoku.or.jp		URL： http://www.chibatoku.or.jp			
氏名 (姓) ナナミ 山田	氏名 (姓) 七海														
所属 総務課 役職															
電話： 047-774-0390 FAX： 047-467-0379															
e-mail： kensyu@chibatoku.or.jp															
URL： http://www.chibatoku.or.jp															
	資料請求先		住所 〒 274-8503 (千葉県) 船橋市高根台 2-11-1 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; border-bottom: 1px dashed black;">担当部門</td> <td style="width: 40%; border-bottom: 1px dashed black;">担当者氏名</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">総務課</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">氏名</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">ナナミ</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">姓</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">名</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">山田</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">七海</td> </tr> </table> 電話： 047-774-0390 FAX： 047-467-0379 e-mail： kensyu@chibatoku.or.jp URL： http://www.chibatoku.or.jp	担当部門	担当者氏名		総務課	氏名	ナナミ		姓	名		山田	七海
担当部門	担当者氏名														
総務課	氏名	ナナミ													
	姓	名													
	山田	七海													
	募集方法		<input checked="" type="radio"/> 公募 2. その他 (具体的に：)												
	応募必要書類 <small>(複数選択可)</small>		<input checked="" type="radio"/> 履歴書、 <input checked="" type="radio"/> 卒業(見込み)証明書、 <input checked="" type="radio"/> 成績証明書、 4. 健康診断書、 <input checked="" type="radio"/> その他 (具体的に： 身上調書)												
	選考方法 <small>(複数選択可)</small>		<input checked="" type="radio"/> 面接 2. 筆記試験 その他 (具体的に： 小論文)												
	募集及び選考の時期		募集時期：04月01日頃から 選考時期：08月20日頃から												
	マッチング利用の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無												

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会千葉徳洲会病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 <small>(基幹型記入)</small>	概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2022年 4月 30日)
30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) <small>(基幹型記入)</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	(プログラム責任者) フリガナ ムラタ イッペイ 氏名(姓) 村田 氏名(名) 一平 所属 外科 役職 医長 (副プログラム責任者) 1. 有()名 <input checked="" type="radio"/> 無
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 <small>(基幹型記入)</small> すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。	* 別紙4に記入
32. インターネットを用いた評価システム	<input checked="" type="radio"/> 有(<input checked="" type="radio"/> EPOC <input type="radio"/> その他()) <input type="radio"/> 無
33. 研修開始時期 <small>(基幹型、地域密着型記入)</small>	西暦 2023年 4月 1日
34. 研修医の処遇 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 <input checked="" type="radio"/> 2. 病院独自の処遇とする。
処遇の適用 <small>(基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</small>	<input checked="" type="radio"/> 1. 常勤 2. 非常勤
常勤・非常勤の別	研修手当 一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(300,000円) 賞与/年(400,000円) 二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(320,000円) 賞与/年(640,000円) 時間外手当: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 休日手当: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
勤務時間	基本的な勤務時間(8:30 ~ 17:00) 24時間表記 休憩時間(原則 12:00~13:00) 時間外勤務の有無: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
休暇	有給休暇(1年次: 10日、2年次: 11日) 夏季休暇(1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 年末年始 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 その他休暇(具体的に: 慶弔休暇等)
当直	回数(約 5回/月)
研修医の宿舍(再掲)	1. 有(単身用: 戸、世帯用: 戸) <input checked="" type="radio"/> 無(住宅手当: 50,000円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
研修医室(再掲)	<input checked="" type="radio"/> 有(1室) <input type="radio"/> 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
社会保険・労働保険	公的医療保険(徳洲会健康保険組合) 公的年金保険(厚生年金) 労働者災害補償保険法の適用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 雇用保険 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
健康管理	健康診断(年 2回) その他(具体的に)
医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない 個人加入(1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 任意)
外部の研修活動	学会、研究会等への参加: <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
35. 研修医手帳 <small>(基幹型記入)</small>	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
36. 連携状況 <small>(基幹型記入)</small>	* 様式6に記入

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 （ 千葉県 ）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
千葉県	東葛南部	千葉徳洲会病院 (病院施設番号: 030157)		千葉県	東葛南部		千葉病院 (病院施設番号: 030155)		北海道	十勝		帯広徳洲会病院 (病院施設番号: 031070)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				千葉県	印旛		成田富里徳洲会病院 (病院施設番号: 168317)		山梨県	中北		白根徳洲会病院 (病院施設番号: 031122)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				千葉県	東葛南部		鎌ヶ谷総合病院 (病院施設番号: 090016)		鹿児島県	肝属		大隅鹿屋病院 (病院施設番号: 031123)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				北海道	札幌圏		札幌徳洲会病院 (病院施設番号: 030011)		山形県	最上		新庄徳洲会病院 (病院施設番号: 031124)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				埼玉県	利根	追加	羽生総合病院 (病院施設番号: 030972)	○	新潟県	下越		山北徳洲会病院 (病院施設番号: 032540)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				北海道	南渡島	追加	共愛会病院 (病院施設番号: 031121)	○	鹿児島県	奄美		喜界徳洲会病院 (病院施設番号: 033277)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				静岡県	志太榛原	追加	榛原総合病院 (病院施設番号: 030395)	○	鹿児島県	奄美		瀬戸内徳洲会病院 (病院施設番号: 033278)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				岐阜県	西濃医療圏	追加	大垣徳洲会病院 (病院施設番号: 100015)	○	鹿児島県	熊毛		屋久島徳洲会病院 (病院施設番号: 033279)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				大阪府	豊濃医療圏	追加	吹田徳洲会病院 (病院施設番号: 168249)	○	鹿児島県	奄美		沖永良部徳洲会病院 (病院施設番号: 033280)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
				神奈川県	県央	追加	大和徳洲会病院 (病院施設番号: 030293)	○	鹿児島県	奄美保健		与論徳洲会病院 (病院施設番号: 033281)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

徳洲会グループ病院の地域医療研修は平成6年よりスーパーローテーション研修プログラムの中で「へき地離島医療研修」として取り入れており、かなり実践的な内容となっております。この、医師不足地域であるへき地離島の研修（外来、病棟、訪問等）は、医療・福祉資源の限られた場で研修する事で、チーム医療での医師の役割を再認識し、将来の日本の縮図ともいえる少子高齢化の進んだ地域で初期臨床研修中に経験する良い機会であり、経験した研修医の満足度も高いものとなっております。基本的には、派遣元と派遣先の人的な交流・連携がある病院を優先していますが、派遣元病院でも研修医の能力について差があり、個々の研修医に対し適切な施設において研修を受けることができるように、複数の施設を一括して登録していますが、研修実施責任者も指導医講習会を受講している事や、受け入れ研修医の人数も過剰にならないよう配慮されており、十分な指導体制も確保されています。

徳洲会グループ病院は2021年度に複数あった法人が同一法人に統一され、医師の往来が活発化しております。その中で、研修医にも地域によって違う診療体制や症例などを経験、多様な研修してもらうため、必要な症例数があり指導医が在籍している病院に限り協力型病院として追加をしました。また、「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」に定める以下の要件に合致しているものと考えております。

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」
 5. 臨床研修病院の指定の基準 (1) 基幹型臨床研修病院の指定の基準 (イ) 地域医療のシステム化を図り、臨床研修病院群における緊密な連携を保つため、臨床研修病院群を構成する臨床研修病院及び臨床研修協力施設（病院又は診療所に限る）は、原則、同一の二次医療圏内又は同一の都道府県内にあることを基本とし、それらの地域を越える場合は、以下のような正当な理由があること。 ①略②略③その他、基幹型臨床研修病院と地域医療の上で連携が強く、十分な指導体制のもとで様々なバリエーションの経験及び能力形成が可能であり、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診療能力を身に付けることのできる良質な研修が見込まれる場合であること。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院（千葉県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
千葉県	東葛南部	千葉徳洲会病院 (病院施設番号:030157)		千葉県	安房	追加	館山病院 (病院施設番号:188802)	○	沖縄県	宮古		宮古島徳洲会病院 (病院施設番号:033295)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		鹿児島県	奄美		名瀬徳洲会病院 (病院施設番号:031000)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		埼玉県	秩父		皆野病院 (病院施設番号:041002)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		鹿児島県	奄美		笠利病院 (病院施設番号:041003)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		愛媛県	宇和島		宇和島徳洲会病院 (病院施設番号:041004)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		沖縄県	八重山		石垣島徳洲会病院 (病院施設番号:041005)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		北海道	札幌		札幌南徳洲会病院 (病院施設番号:056506)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		鹿児島県	南薩		山川病院 (病院施設番号:076095)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		鹿児島県	奄美		徳之島徳洲会病院 (病院施設番号:030951)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名
							(病院施設番号:)		山形県	庄内		庄内余目病院 (病院施設番号:031060)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

徳洲会グループ病院の地域医療研修は平成6年よりスーパーローテーション研修プログラムの中で『へき地離島医療研修』として取り入れており、かなり実践的な内容となっております。この、医師不足地域であるへき地離島での研修（外来、病棟、訪問等）は、医療・福祉資源の限られた場で研修する事で、チーム医療での医師の役割を再認識し、将来の日本の縮図ともいえる少子高齢化の進んだ地域で初期臨床研修中に経験する良い機会であり、経験した研修医の満足度も高いものとなっております。

基本的には、派遣元と派遣先の人的な交流・連携がある病院を優先していますが、派遣元病院でも研修医の能力について差があり、個々の研修医に対し適切な施設において研修を受けることができるように、複数の施設を一括して登録していますが、研修実施責任者も指導医講習会を受講している事や、受け入れ研修医の人数も過剰にならないよう配慮されており、十分な指導体制も確保されています。

徳洲会グループ病院は2021年度に複数あった法人が同一法人に統一され、医師の往来が活発化しております。その中で、研修医にも地域によって違う診療体制や症例などを経験、多重多様な研修してもらうため、必要な症例数があり指導医が在籍している病院に限り協力型病院として追加をしました。また、「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」に定める以下の要件に合致しているものと考えております。

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院 （ 千葉県 ）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員		
千葉県	東葛南部	千葉徳洲会病院 (病院施設番号:030157)					(病院施設番号:)		北海道	日高		日高徳洲会病院 (病院施設番号:031061)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	5名		
							(病院施設番号:)						(病院施設番号:)				
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)							(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

徳洲会グループ病院の地域医療研修は平成6年よりスーパーローテーション研修プログラムの中で『へき地離島医療研修』として取り入れており、かなり実践的な内容となっております。この、医師不足地域であるへき地離島での研修（外来、病棟、訪問等）は、医療・福祉資源の限られた場で研修する事で、チーム医療での医師の役割を再認識し、将来の日本の縮図ともいえる少子高齢化の進んだ地域で初期臨床研修中に経験する良い機会であり、経験した研修医の満足度も高いものとなっております。

基本的には、派遣元と派遣先の人的な交流・連携がある病院を優先していますが、派遣元病院でも研修医の能力について差があり、個々の研修医に対し適切な施設において研修を受けることができるように、複数の施設を一括して登録していますが、研修実施責任者も指導医講習会を受講している事や、受け入れ研修医の人数も過剰にならないよう配慮されており、十分な指導体制も確保されています。

徳洲会グループ病院は2021年度に複数あった法人が同一法人に統一され、医師の往来が活発化しております。その中で、研修医にも地域によって違う診療体制や症例などを経験、多様な研修してもらうため、必要な症例数があり指導医が在籍している病院に限り協力型病院として追加をしました。また、「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」に定める以下の要件に合致しているものであると考えております。

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 3回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ツルタ ヨシヒコ		医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院	院長	研修管理委員長
姓 鶴田	名 好彦			
フリガナ ムラタ イッペイ		医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院	医長	研修管理委員 プログラム責任者
姓 村田	名 一平			
フリガナ イサイ ヒデヤ		医療法人徳洲会 日高徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 井齋	名 偉矢			
フリガナ マツウラ コウショウ		医療法人徳洲会 名瀬徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 松浦	名 甲彰			
フリガナ テラダ ヤスシ		医療法人徳洲会 庄内余目病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 寺田	名 康			
フリガナ フジタ ヤスヒコ		医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 藤田	名 安彦			
フリガナ ササカベ ヒロシ		医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 笹壁	名 弘嗣			
フリガナ イケダ ユウト		医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院	医長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 池田	名 悠人			
フリガナ ヤマモト コウジ		医療法人徳洲会 屋久島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 山本	名 晃司			
フリガナ ウラモト サトシ		医療法人徳洲会 喜界徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 浦元	名 智司			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 3回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タカスギ カシヤ		医療法人徳洲会 与論徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 高杉	名 香志也			
フリガナ ミヤギ カズフミ		医療法人徳洲会 宮古島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 宮城	名 和史			
フリガナ オカ ススム		医療法人徳洲会 笠利病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 岡	名 進			
フリガナ シモダ ミツヨシ		医療法人徳洲会 皆野病院	外科部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 霜田	名 光義			
フリガナ オギノ ヒデミツ		医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 萩野	名 秀光			
フリガナ ホサカ セイジ		医療法人徳洲会 宇和島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 保坂	名 征司			
フリガナ イケムラ リョウ		医療法人徳洲会 石垣島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 池村	名 綾			
フリガナ タカハシ クニオ		医療法人徳洲会 瀬戸内徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 高橋	名 邦夫			
フリガナ タマエ ツヨシ		医療法人徳洲会 沖永良部徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 玉榮	名 剛			
フリガナ ムナカタ タカシ		医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 棟方	名 隆			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 3回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ イシカワ マコト		医療法人徳洲会 白根徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 石川	名 真			
フリガナ コバヤシ ツカサ		医療法人徳洲会 山北徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 小林	名 司			
フリガナ ミズシマ ユタカ		医療法人徳洲会 共愛会病院	名誉院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 水島	名 豊			
フリガナ シジュウボウ カツヤ		医療法人徳洲会 札幌南徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 四十坊	名 克也			
フリガナ ノグチ シュウジ		医療法人徳洲会 山川病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 野口	名 修二			
フリガナ クロイワ チュウシ		医療法人徳洲会 館山病院	ドック・健診センター長 在宅事業部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 黒岩	名 宙司			
フリガナ ホリ タカキ		医療法人徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 堀	名 隆樹			
フリガナ オクヤマ ジュン		医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 奥山	名 淳			
フリガナ コマツ ナオヤ		医療法人同和会 千葉病院	会長	研修管理委員 外部委員
姓 小松	名 尚也			
フリガナ イワサキ タツヒコ		医療法人徳洲会 羽生総合病院	部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 岩崎	名 竜彦			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 3 年度開催回数 3 回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タカシマ ヤズヒデ		医療法人徳洲会 榛原総合病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 高島	名 康秀			
フリガナ キタダ フミノリ		医療法人徳洲会 吹田徳洲会病院	副院長兼 バースセンター長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 北田	名 文則			
フリガナ マセ タカヒロ		医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 間瀬	名 隆弘			
フリガナ シミズ マサノリ		医療法人徳洲会 大和徳洲会病院	名誉院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 清水	名 正法			
フリガナ モトキ ツギオ		千葉徳洲会病院 健康友の会	会長	研修管理委員 外部委員
姓 本木	名 次夫			
フリガナ ヤマザキ ユカリ		医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院	看護部長	研修管理委員
姓 山崎	名 ゆかり			
フリガナ ホリユキ ヒロシゲ		医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院	事務長	研修管理委員 事務部門責任者
姓 堀行	名 洋茂			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数（年次報告用）

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院
病院施設番号： 030157

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	婦 人 科	その他の研修を行う診療科								合 計	
							心臓血管外科	脳神経外科	リハビリ	泌尿器科	緩和ケア内科	病理診断科	その他	放射線科		
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	2,269	(11,853)	1,830		0	441	214	446	96	751	265	0	0			6,312
年間新外来患者数	5,806		834		115	207	35	346	39	224	296	0	0			7,902
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	288.1 (365)	32.4 (365)	48.3 (365)	()	4.1 (140)	33.0 (240)	9.6 (91)	23.1 (365)	29.1 (191)	44.2 (240)	8.4 (147)					
平均在院日数	18.6		13.1		0	6.7	16.6	19.1	129.3	8.0	19.1					
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	11 (6)	1 (1)	7 (4)	3 (1)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	4 (1)	2 (2)	1 (1)	3 (0)			40 (20)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型臨床研修病院指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの研修医の数（年次報告用）

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)								臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院						
								病院施設番号： 030157						
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
千葉徳洲会病院	内科	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	1		
	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	救急部門	1		1		1		1		1				
	麻酔科		1		1		1		1		1			
新潟医療センター	内科	1	1	1	1	1	1							
	外科							1	1					
	救急科									1				
	麻酔科										1			

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数（年次報告用）

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)								臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院						
								病院施設番号： 030157						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
千葉徳洲会病院	内科	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	1		
	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	救急部門	1		1		1		1		1				
	麻酔科		1		1		1		1		1			
新潟医療センター	内科	1	1	1	1	1	1							
	外科							1	1					
	救急科									1				
	麻酔科										1			

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030157703病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院

臨床研修病院群番号： _____ 臨床研修病院群名： _____

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーローテート研修にて2年間で医師として求められる知識及び手技を網羅できる。 ・基本的な研修カリキュラムをもとに、個々のレベルに応じた研修が可能であり、選択の幅が広いので自由に研修ができる。 ・グループの理念にのっとり、救急は断らないので市内でも最多の救急搬送の受入件数を保持しており、幅広い疾患を経験する事ができる。 ・医学知識だけでなく人格形成の教育を念頭に置き、研修環境を提供する。 			
3. 臨床研修の目標の概要	ジェネラリストとして総合的な臨床能力を養成する研修を目標とする。地域医療分野での研修をとおして医師不足地域での臨床を経験し、日本を支える医師の一員として献身的に診療にあたり、適切迅速なコンサルトができる臨床医を育成する事を目標としている。			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。希望があれば後期研修プログラムの選考登録が可能			
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030157 千葉徳洲会病院 090016 鎌ヶ谷総合病院 031121 共愛会病院 030395 榛原総合病院 168249 吹田徳洲会病院 168317 成田富里病院 100015 大垣徳洲会病院 030293 大和徳洲会病院	<u>25.8 週</u> <u>4.3 週</u>	2 週
	救急部門	030157 千葉徳洲会病院 090016 鎌ヶ谷総合病院 030395 榛原総合病院 168249 吹田徳洲会病院 168317 成田富里病院 100015 大垣徳洲会病院 030293 大和徳洲会病院	<u>4.3 週</u> <u>4.3 週</u>	

	地域医療	031070 031061 031121 031060 032540 031124 041002 031122 041004 076095 031123 033279 041003 031000 033278 033277 033280 033281 030951 033295 041005 188802	帯広徳洲会病院 日高徳洲会病院 共愛会病院 庄内余目病院 山北徳洲会病院 新庄徳洲会病院 皆野病院 白根徳洲会病院 宇和島徳洲会病院 山川病院 大隅鹿屋病院 屋久島徳洲会病院 笠利病院 名瀬徳洲会病院 瀬戸内徳洲会病院 喜界徳洲会病院 沖永良部徳洲会病院 与論徳洲会病院 徳之島徳洲会病院 宮古島徳洲会病院 石垣島徳洲会病院 館山病院	8.6 週	一般外来 1 週 在宅診療 1 週
	外科	030157 090016 031121 030395 168249 168317 100015 030293	千葉徳洲会病院 鎌ヶ谷総合病院 共愛会病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 成田富里病院 大垣徳洲会病院 大和徳洲会病院	17.2 週 4.3 週	1 週
	小児科	030011 030972	札幌徳洲会病院 羽生総合病院	4.3 週	週
	産婦人科	030011 030972 031121 16824	札幌徳洲会病院 羽生総合病院 共愛会病院 吹田徳洲会病院	4.3 週	
	精神科	030155	千葉病院	4.3 週	
	麻酔科	030157 090016 030395 168249 030293	千葉徳洲会病院 鎌ヶ谷総合病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 大和徳洲会病院	4.3 週 4.3 週	
病院で 定めた 必修 科目					週
					週
					週
					週
	内科 外科 小児科	030157 031070 031061 031121	千葉徳洲会病院 帯広徳洲会病院 日高徳洲会病院 共愛会病院	18 週	

選択 科目	産婦人科	031060	庄内余目病院
	麻酔科	032540	山北徳洲会病院
	救急部門	031124	新庄徳洲会病院
	泌尿器科	041002	皆野病院
	リハビリテーション科	031122	白根徳洲会病院
	心臓血管外科	041004	宇和島徳洲会病院
	脳神経外科	076095	山川病院
	整形外科	031123	大隅鹿屋病院
	病理診断科	033279	屋久島徳洲会病院
	婦人科	041003	笠利病院
	地域医療	031000	名瀬徳洲会病院
	緩和ケア	033278	瀬戸内徳洲会病院
		033277	喜界徳洲会病院
		033280	沖永良部徳洲会病院
		033281	与論徳洲会病院
	030951	徳之島徳洲会病院	
	033295	宮古島徳洲会病院	
	041005	石垣島徳洲会病院	
	168317	成田富里徳洲会病院	
	090016	鎌ヶ谷総合病院	
	030011	札幌徳洲会病院	
	030972	羽生総合病院	
	188802	館山病院	
	030395	榛原総合病院	
	168249	吹田徳洲会病院	
	100015	大垣徳洲会病院	
	030293	大和徳洲会病院	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りではない。

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・月平均 5 回、2 年間の合計 120 回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・内科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

救急（救急科 4 週+当直 8 週）とは別に麻酔科をローテートする。

必須科目《内科・外科・救急科・麻酔科》

基本的には千葉徳洲会病院での研修

研修医が希望する場合…鎌ヶ谷総合病院、共愛会病院、榛原総合病院、吹田徳洲会病院、成田富里病院、大垣徳洲会病院、大和徳洲会病院で最大 4.3 週の研修を可。

選択科目

内科（千葉徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院、成田富里徳洲会病院、共愛会病院、榛原徳洲会病院、吹田徳洲会病院、大垣徳洲会病院、大和徳洲会病院）

外科（千葉徳洲会病院、成田富里徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院、共愛会病院、榛原徳洲会病院、吹田徳洲会病院、大垣徳洲会病院、大和徳洲会病院）

救急科（千葉徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院、成田富里徳洲会病院、共愛会病院、榛原徳洲会病院、吹田徳洲会病院、大垣徳洲会病院、大和徳洲会病院）

小児科（札幌徳洲会病院 羽生総合病院）

産婦人科（札幌徳洲会病院 羽生総合病院、共愛会病院、吹田徳洲会病院）

麻酔科（千葉徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院、榛原徳洲会病院、吹田徳洲会病院、大和徳洲会病院）

泌尿器科（千葉徳洲会病院）

リハビリテーション科（千葉徳洲会病院）

心臓血管外科（千葉徳洲会病院）

整形外科（札幌徳洲会病院）

病理診断科（千葉徳洲会病院）

婦人科（千葉徳洲会病院）

地域医療（帯広徳洲会病院、日高徳洲会病院、庄内余目病院、山北徳洲会病院、新庄徳洲会病院、皆野病院、白根徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、山川病院、大隅鹿屋病院、屋久島徳洲会病院、笠利病院、名瀬徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、喜界徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、与論徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、館山病院）

緩和ケア（札幌南徳洲会病院）

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号：030157

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院

は、既取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
千葉徳洲会病院 (030157)	内科	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	救急部門	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	麻酔科						1	1	1	1	1	1	1	1
	選択										1	1	1	1
新潟医療センター (031529)	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	外科							1	1	1	1	1	1	1
	救急部門									1	1	1	1	1
	麻酔科										1	1	1	1

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030157	臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール（一年次・**二年次**）いずれかに○ プログラム番号 _____ (No. 1)

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。* 1

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 * 2	1~	5~	9~	12~	17~	21~	25~	29~	33~	37~	41~	45~	49~
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
札幌徳洲会病院 (030159)	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
羽生総合病院 (030972)	小児科									1	1	1	1	1
	産婦人科									1	1	1	1	1
	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
千葉病院(030155)	精神科			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
千葉徳洲会病院 (030157)	選択	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	棟方 隆	帯広徳洲会病院	院長	42年	○	日本外科学会指導医・専門医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 平成10年度臨床研修指導医養成講習会		3、4
地域医療	井齋 偉矢	日高徳洲会病院	院長	47年	○	日本東洋医学会指導医・専門医 日本東洋医学会漢方専門医		3、4
地域医療	寺田 康	庄内余目病院	院長	40年	○	第4回徳洲会グループ指導医養成講習会 日本外科学会専門医・指導医 日本胸部外科学会専門医・指導医 日本心臓血管外科学会専門医・指導医 日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医		3、4
地域医療	小林 司	山北徳洲会病院	院長	42年	○	第27回MMC第14回三重大学医学部附属病院 合同指導医養成講習会		3、4
地域医療	笹壁 弘嗣	新庄徳洲会病院	院長	37年	○	日本外科学会指導医		3、4

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称：千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
地域医療	霜田 光義	皆野病院	外科部長	40年	○	日本外科学会専門医 全国自治体病院協議会主催		3、4
地域医療	石川 真	白根徳洲会病院	院長	36年	○	臨床研修指導医（第6回講習会） 日本外科学会専門医 消化器内視鏡学会専門医 消化器外科学会専門医		3、4
地域医療	保坂 征司	宇和島徳洲会病院	院長	21年	○	第21回日本医師会指導医のための教育ワークショップ、日本外科学会外科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科指導医、日本乳がん検診精度管理中央機構 評価 B-1(検診読影可)、緩和ケア研修会緩和ケア研修会終了、日本病院総合診療医学会認定総合診療医		3、4
地域医療	野口 修二	山川病院	院長	34年	○	第16回徳洲会グループ指導者養成講習会（2009年3月14日）		3、4
地域医療	池田 悠人	大隅鹿屋病院	医長	11年	○	第22回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会受講		3、4
地域医療	山本 晃司	屋久島徳洲会病院	院長	39年	○	徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会（平成20年9月21日）		3、4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称：千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
地域医療	岡 進	笠利病院	院長	50年	○	日本肝臓学会専門医 漢方専門医（日本東洋医学会） 日本消化器病学会専門医 日本外科学会専門医 日本医師会認定産業医（第941号） 日本プライマリ・ケア認定指導医		3、4
地域医療	松浦 甲彰	名瀬徳洲会病院	院長	35年	○	H17年度第3回医師研修制度・研修管理委員会・委員長研修（特定研修受講）、 第11回徳洲会グループ指導医養成講習会受講		3、4
地域医療	高橋 邦丕	瀬戸内徳洲会病院	院長	48年	×	日本脳神経外科学会専門医 日本神経学会専門医		3、4
地域医療	浦元 智司	喜界徳洲会病院	院長	30年	○	厚生省認定第4回徳洲会グループ指導医養成講習会修了証		3、4
地域医療	玉榮 剛	沖永良部徳洲会病院	院長	34年	○	徳洲会グループ臨床研修指導者講習会		3、4
地域医療	高杉 香志也	与論徳洲会病院	院長	22年	○	第7回徳洲会グループ指導医養成講習会 日本内科学会認定内科医 総合診療医認定医		3、4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称：千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
地域医療	藤田 安彦	徳之島徳洲会病院	院長	36年	○	日本臨床研修医指導医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本がん治療認定機構 がん治療認定医・指導医 肺がんCT 検診認定医 日本医学放射線学会専門認定医 日本医学放射線学会研修指導者 日本 IVR 学会専門医 認知症サポート医 日本フライマリ・ケア連合学会認定フライマリ・ケア認定医 日本フライマリ・ケア連合学会認定指導医		3、4
地域医療	宮城 和史	宮古島徳洲会病院	院長	38年	○	第2回臨床研修指導医養成セミナー修了		3、4
地域医療	池村 綾	石垣島徳洲会病院	院長	27年	○	第1回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会受講		3、4
地域医療	黒岩 宙司	館山病院	トック・健診センター長 在宅事業部長	36年	○	第22回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会受講 日本フライマリ・ケア認定指導医 小児科専門医 日本糖尿病協会療養指導医		3、4
選択科 緩和ケア	四十坊 克也	札幌南徳洲会病院	院長	22年	○	日本内科学会認定総合内科専門医 日本緩和医療学会認定医 日本フライマリ・ケア連合学会認定指導医 四病院団体協議会指導医講習会		3、4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	村田 一平	千葉徳洲会病院	医長	15年	○	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 プログラム責任者養成講習会		1. 4
外科	鶴田 好彦	千葉徳洲会病院	院長	25年	○	日本外科学会外科専門医 プライマリケア連合学会指導医 麻酔科標榜医		4
外科	峯田 章	千葉徳洲会病院	副院長	27年	○	日本消化器外科学会専門医 日本外科学会専門医		4
内科	浅原 新吾	千葉徳洲会病院	副院長	32年	○	日本消化器病学会指導医・専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本内科学会認定医 がん治療認定医		4
内科	石森 章太郎	千葉徳洲会病院	呼吸器内科部長	28年	○	日本呼吸器学会専門医 日本気管支鏡学会専門医 日本内科学会認定医		4
内科	上田 修	千葉徳洲会病院	循環器内科部長	38年	○	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション学会指導医		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
リハビリテーション科	池田 喜久子	千葉徳洲会病院	リハビリテーション科 部長	38年	○	日本リハビリテーション医学会 リハビリ専門医		4
麻酔科	百瀬 清志	千葉徳洲会病院		33年	○	麻酔科標榜医		4
心臓血管外科	橋本 昌紀	千葉徳洲会病院	心臓血管外科 部長	33年	○	日本心臓血管外科学会専門医 日本循環器学会専門医 日本外科学会専門医		4
救急科	大田 智之	千葉徳洲会病院	外科部長	21年	○	日本消化器外科学会専門医 日本外科学会専門医		4
外科	アディクリスナ・ラマ	千葉徳洲会病院	医長	19年	○	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医		4
泌尿器科	角谷 成紀	千葉徳洲会病院	部長	17年	○	日本泌尿器科学会専門医		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	五十嵐 忠彦	千葉徳洲会病院	部長	43年	○	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本血液学会血液専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医		4
循環器内科	古賀 敬史	千葉徳洲会病院	部長	28年	○	日本循環器学会専門医		4
循環器内科	中根 啓貴	千葉徳洲会病院		8年	○	日本内科学会認定内科医		4
病理診断科	黒田 陽子	千葉徳洲会病院	部長	25年	○	日本病理学会認定病理専門医・指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医		4
緩和ケア内科	渡邊 敏	千葉徳洲会病院	部長	47年	○	指導医講習会受講済		4
緩和ケア内科	尾下 陽大	千葉徳洲会病院	部長	14年	○	指導医講習会受講済		4
脳神経外科	沖山 幸一	千葉徳洲会病院	部長	41年	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術指導医		4
婦人科	山下 修位	千葉徳洲会病院	部長	12年	○	産婦人科専門医 指導医講習会受講		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称：

千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
精神科	小松 尚也	千葉病院	院長	32年	○	日本精神神経学会精神科専門医		3.4
精神科	松本 陽一	千葉病院	副院長 診療部長	27年	○	日本精神神経学会精神科専門医		4
精神科	横山 大輔	千葉病院	医局長	20年	○	日本精神神経学会精神科専門医		4
外科	堀 隆樹	鎌ヶ谷総合病院	院長	35年	○	日本病院会研修指導医養成講習会修了 外科専門医、心臓血管外科専門医、ICD		3.4
内科	岩部 秀夫	鎌ヶ谷総合病院	診療部長	36年	○	島根県臨床研修指導医講習会修了 日本プライマリ・ケア指導医		4
内科	中道 司	鎌ヶ谷総合病院	診療部長	34年	○	外科専門医 胸部外科専門医、		4
麻酔科	山田 均	鎌ヶ谷総合病院	診療部長	20年	○	茨城県指導医養成講習会修了 麻酔科専門医、小児科専門医、救急医学会専門 医、集中治療医学会専門医		4
麻酔科	鈴木 恵	鎌ヶ谷総合病院	診療医長	13年	○	麻酔科専門医 指導医講習会受講済み		4
救急科	澤村 淳	鎌ヶ谷総合病院	診療部長	32年	○	北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ修了、救急専門医、集中治療専門医、 麻酔科学会認定医、脳神経外科専門医 脳卒中学会専門医		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
救急科	荻野 秀光	成田富里徳洲会病院	院長	26年	○	日本心臓血管外科学会専門医 日本脈管学会専門医 日本外科学会指導医		3. 4
内科	橋本 亨	成田富里徳洲会病院	副院長	30年	○	第30回新臨床研修指導医養成講習会、日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心血管カテーテル治療学会認定医		4
外科	村山 弘之	成田富里徳洲会病院	副院長	21年	○	日本外科学会認定専門医・指導医、日本消化管学会専門医・指導医、日本救急医学会認定医・専門医、日本抗加齢医学会専門医、社会系医学会専門医、日本職業・災害医学会労災補償指導医、第15回徳洲会「L-7」臨床研修指導医養成講座日本心臓血管外科学会専門医		4
麻酔科	奥山 淳	札幌徳洲会病院	院長	33年	○	日本専門医機構認定麻酔科専門医（日本麻酔科学会） 日本麻酔科学会麻酔科指導医 麻酔科標榜医 指導医養成講習会受講		3. 4
小児科 血友病 センター	金田 眞	札幌徳洲会病院	主任部長 副センター長	29年	○	日本小児科学会小児科専門医・指導医 日本血液学会認定血液専門医 日本がん治療認定機構がん治療認定医 指導医養成講習会受講		4
小児科 血友病 センター	岡 敏明	札幌徳洲会病院	臨床顧問 センター長	47年	○	日本小児科学会小児科専門医・指導医 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本小児血液・がん学会暫定指導医 指導医養成講習会受講		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
小児科 感染症	成田 光生	札幌徳洲会病院	部長 感染管理 室長	40年	○	日本小児科学会小児科専門医・指導医 日本感染症学会感染症専門医・指導医 インфекションコントロールドクター 指導医養成講習会受講		4
小児科 循環器	村上 智明	札幌徳洲会病院	部長	33年	○	日本専門医機構認定小児科専門医 日本小児科学会小児科指導医 日本循環器学会循環器専門医 日本小児循環器学会小児循環器専門医 日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患暫定専門医 PALS Instructor 臨床研修指導医		4
小児科	小笠原 卓	札幌徳洲会病院	医長	13年	○	日本小児科学会小児科専門医 日本感染症学会感染症専門医 指導医養成講習会受講		4
小児科	大島 美保	札幌徳洲会病院	医師	32年	○	日本小児科学会小児科専門医 インフェクションコントロールドクター AHA PALS Provider 指導医養成講習会受講		4
産婦人科	関 敏雄	札幌徳洲会病院	主任部長	48年	○	日本産科婦人科学会産婦人科専門医 指導医養成講習会受講		4
産婦人科	河井 紀一郎	札幌徳洲会病院	部長	25年	○	日本産科婦人科学会産婦人科専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医（産科婦人科） 麻酔科標榜医 指導医養成講習会受講		4

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
産婦人科	名和 正行	札幌徳洲会病院	医長	23年	×	日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医		
整形外科	倉田 佳明	札幌徳洲会病院	副院長	26年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 手外科学会手外科専門医 救急医学会救急科専門医 指導医養成講習会受講		3. 4
整形外科	松井 裕帝	札幌徳洲会病院	部長	18年	○	整形外科学会整形外科専門医 手外科学会手外科専門医 指導医養成講習会受講		4
整形外科	宮城 登	札幌徳洲会病院	主任部長	39年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 整形外科学会認定スポーツ医 指導医養成講習会受講		4
整形外科	齋藤 丈太	札幌徳洲会病院	部長	27年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 救急医学会救急科専門医 プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医 指導医養成講習会受講		4
整形外科	上田 泰久	札幌徳洲会病院	部長	18年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 救急医学会救急科専門医 プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医 指導医養成講習会受講		4
整形外科	土反 唯衣	札幌徳洲会病院	医長	12年	○	整形外科学会整形外科専門医 指導医養成講習会受講		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講 習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任 者 2 副プログラム責 任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療 内科	水島 豊	共愛会病院	名誉院長	46年	○	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会指導医 気管支鏡専門医・指導医 第7回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療 内科	金子 登	共愛会病院	副院長 内科部長	28年	○	第4回徳洲会臨床研修病院指導医講習会受講、 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本救急医学会専門医、日本内視鏡学会認定医、 日本人間ドック学会認定医、死体解剖資格認定医、 総合診療領域特任指導医		4
外科	立石 晋	共愛会病院	院長	34年	○	第1回徳洲会グループ指導医養成講習会受講、 日本外科学会専門医・指導医		4
産婦人科	佐藤 賢一郎	共愛会病院	産婦人科 部長	37年	○	第4回札幌医科大学付属病院臨床研修指導医養成講習会受講 日本産婦人科学会専門医		4
内科	高島 康秀	榛原総合病院	副院長	22年	○	内科学会総合内科専門医 日本プライマリケア連合学会指導医		3、4
外科	森田 信敏	榛原総合病院	院長	32年	○	整形外科学会専門医 手の外科学会専門医 リウマチ学会専門医		4

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
麻酔科	若林 ちえ子	榛原総合病院	部長	35年	○	麻酔科学会専門医		4
麻酔科	赤池 達正	榛原総合病院		31年	○	麻酔科学会専門医		4
産婦人科	北田 文則	吹田徳洲会病院	副院長兼 パースセンター長	42年	○	日本産科婦人科学会専門医 日本周産期・新生児医学会暫定教育指導医 日本周産期・新生児医学会新生児インストラクター 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定機構暫定教育医 平成20年9月14日第11回全国済生会臨床研修指導医のためワークショップ修了		3.4
産婦人科	梅本 雅彦	吹田徳洲会病院	部長	25年	○	日本産科婦人科学会専門医 日本産科婦人科内視鏡学会認定医 日本内視鏡外科学会認定医 母体保護法指定 平成19年6月21日近畿大学医学部附属病院臨床研修指導医のためワークショップ修了		4
産婦人科	松本 有里	吹田徳洲会病院	医長	19年	○	日本産科婦人科学会専門医 臨床研修指導者養成講習会修了		4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	天野 知徳	吹田徳洲会病院	循環器内科 部長	24年	○	日本内科学会認定医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本循環器病 平成21年9月13日第15回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会修了		4
内科	吉永 寛	吹田徳洲会病院	消化器内科 部長	24年	○	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本アライメント学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 平成20年7月22日VHJ機構指導医養成講座受講		4
内科	辻 文生	吹田徳洲会病院	地域医療科 部長	26年	○	日本内科学会指導医、日本呼吸器学会指導医 日本アレルギー学会指導医、日本気管支鏡学会指導医 臨床研修指導医講習会受講		4
内科	中野 厚生	吹田徳洲会病院	地域医療科 医長	22年	○	緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医講習会受講		4
内科	巢山 環	吹田徳洲会病院	循環器内科 医長	24年	○	日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 平成25年1月15日北海道医師会指導医のための教育ワークショップ修了		4

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	木田 順富	吹田徳洲会病院	循環器内科 医長	24年	○	日本内科学会認定内科医、日本循環器学会循環器専門医 日本不整脈心電学会不整脈専門医 臨床研修指導医講習会受講		4
内科	武田 直久	吹田徳洲会病院		26年	○	日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会総合内科医 平成19年9月15日兵庫医科大学病院臨床研修指導者養成講習会修了		4
外科	高橋 俊樹	吹田徳洲会病院	副院長	40年	○	日本循環器学会認定循環器専門医、日本外科学会指導医・専門医 三学会構成心臓血管外科専門医・修練指導者 日本血管外科学会認定血管内治療医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部・腹部ステントグラフト指導医 経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会 SAPIEN シリーズ指導医 植込型補助人工心臓管理医、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医 平成20年11月25日独立行政法人国立病院機構近畿ブロック臨床研修指導医養成講習会修了		4
外科	藤本 泰久	吹田徳洲会病院	乳腺外科 部長	46年	○	日本外科学会認定医、日本超音波医学会指導医 日本乳癌学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定指導医 臨床研修指導者養成講習会修了		4
外科	吉川 清	吹田徳洲会病院	消化器外科 部長	20年	○	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医、臨床研修指導医養成講習会修了		4

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	小島 正裕	吹田徳洲会病院	形成外科部長	23年	○	日本形成外科学会専門医 平成28年8月18日日本医師会指導医のための教育ワークショップ修了		4
外科	川原 慎一	吹田徳洲会病院	脳神経外科医長	21年	○	日本脳神経外科学会専門医 平成27年5月29日日本病院会臨床研修指導医講習会修了		4
救急科	喜多村 泰博	吹田徳洲会病院	救急科部長	24年	○	日本外科学会認定医、日本救急医学会専門医 JATEC インストラクター、臨床研修指導医講習会受講		4
救急科	鷹羽 浄顕	吹田徳洲会病院	集中治療科部長	20年	○	日本外科学会指導医・専門医、日本救急医学会専門医 日本肝臓学会専門医、日本胸部外科学会指導医・専門医 日本心臓血管外科学会指導医・専門医、日本脈管学会専門医 臨床研修指導者養成講習会修了		4
救急科	丸川 征四郎	吹田徳洲会病院	集中治療部顧問	53年	○	日本呼吸療法医学会専門医、日本蘇生学会指導医 日本集中治療医学会専門医、日本救急医学会指導医 日本麻酔科学会指導医、臨床研修指導者養成講習会修了		4
麻酔科	宮尾 章士	吹田徳洲会病院	麻酔科部長	24年	○	日本麻酔科学会指導医、麻酔科標榜医 臨床研修指導者養成講習会修了		4
麻酔科	岡野 紫	吹田徳洲会病院	麻酔科部長	34年	○	日本麻酔科学会指導医、日本透析医学会専門医 臨床研修指導者養成講習会修了		4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科 乳腺・内分泌 外科	間瀬 隆弘	大垣徳洲会病院	院長	32年	○	第40回新臨床研修指導医養成講習会修了(全国国民健康保険診療施設協議会・全国自治体病院協議会)、乳腺専門医・指導医、内分泌・甲状腺外科専門医、外科専門医・指導医		3、4
総合内科	宮島 克明	大垣徳洲会病院	内科部長	29年	○	第14回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会修了、総合内科専門医		4
内科 循環器内科 救急	吉岡 真吾	大垣徳洲会病院	循環器内科部長	16年	○	第20回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会修了、総合内科専門医、循環器専門医		4
内科 循環器内科	富永 新平	大垣徳洲会病院	循環器内科医長	10年	○	第26回徳洲会グループ臨床研修指導者講習会修了、循環器専門医		4
外科 整形外科	下川 哲哉	大垣徳洲会病院	整形外科部長	17年	○	第11回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会修了、整形外科専門医、脊椎脊髄病医		4
外科 耳鼻咽喉科・頭頸部 外科	青木 光広	大垣徳洲会病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長	33年	○	岐阜大学臨床研修指導医講習会修了、日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本頭頸部がん認定医精度暫定指導医、耳鼻咽喉科専門研修指導医、耳科手術暫定指導医		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	清水正法	大和徳洲会病院	名誉院長	52年	×			3
麻酔科	東朋子	大和徳洲会病院	主任部長	27年	○	・日本麻酔科学会指導医		4
産婦人科	岩崎 竜彦	羽生総合病院	部長	29年	○	日本産婦人科学会専門医 三井記念病院第1回臨床研修指導医講習会受講済		3.4
産婦人科	森村 豊	羽生総合病院	部長	35年	○	日本産婦人科学会専門医 第22回徳洲会グループ臨床研修指導医講習会受講済		4
産婦人科	田部井 有喜	羽生総合病院		14年	○	第18回臨床研修指導医講習会受講		4
小児科	関島 俊雄	羽生総合病院		28年	○	日本小児科学会専門医 埼玉県医科大学臨床研修指導医講習会受講済		4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。